

事 務 連 絡
令和 3 年 12 月 14 日

関 係 各 位

公益財団法人全日本スキー連盟
アルペン委員会
委員長 渡辺淳浩

フッ素化ワックスの使用禁止及び検査実施の見送りについて

昨シーズン適応延期となっていた国際スキー連盟（FIS）のルール、ICR222.8 条項については、今シーズンより適応となっております。

2021 年 9 月 28 日にホームページライブラリーに掲載した日本語版競技規則（ICR）2021 年 7 月版でご確認ください。

（P24）222.8 フッ素入りスキーワックスの禁止

フッ素を含むワックスやチューニング製品の使用は、FIS のすべての種目およびレベルで禁止する。フッ素系ワックスは競技上、有利になることがあり、競技中に使用した場合は失格となる（競技規則および用具の仕様を参照）。

未だ、フッ素を検知する機器がなく今シーズンについても競技会での検査は行いません。

FIS から 2021.11.08 発表されたプレシジョンにおいても罰則は設けないことになっておりますが、フッ素成分が自然環境や人体へ悪影響をもたらすということからルール化された経緯を十分ご理解いただき、遵守下さるようお願い致します。

以上